



## スポーツ施設 今後の方向性は

馬淵 紀明 議員

### 個別施設計画を作成して 検討していく

教育部長

スポーツ施設のグラウンドの利用時間について、今現在の午前6時から8時、あるいは8時から10時というような時間帯別より、もう少し自由に決められないか、という声があるが、市としてはどのように考えているのか。

**教育部長** 利用時間に関する要望も聞いているが、現時点では現状のまま運用していく予定。

各施設の利用率はどのようになっているのか。

**教育部長** 親水公園総合体育館メインアリーナ65・9%、佐織体育館競技場69・4%、立田体育館競技場56・6%、親水公園総合運動場多目的広場19・9%、佐織総合運動場12・3%、佐屋総合運動場13・8%、佐屋スポーツセンター26・1%、立田総合運動場18・6%となっている。

利用率が低い施設の理由は、市としてはどのよ



▲ネーミングライツが検討される親水公園総合体育館

うに分析しているのか。

**教育部長** 合併市ということもあり、同一目的、同一施設が多く設置されている現状だ。

また、平日の午後の利用率が低いと分析もしている。

余り使用されていない施設については、廃止の検討もしているのか。

**教育部長** 今後の施設の方向性については、個別施設計画を作成して検討していく。

個別施設計画とは、どのようなものか。

**教育部長** 公共施設等総合管理計画に基づき、点検・診断によって得られた個別施設の状況や維持管理、更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策内容や実施時期及び計画として定めるものだ。

ネーミングライツを導入する考えは

ネーミングライツを取り入れている自治体があると思うが、近隣自治体ではどの自治体が実施しているのか。

**総務部長** 近隣では豊田合成株式会社が稲沢市総合体育館に「豊田合成アリーナ」の愛称で、命名権を使用している。

どのくらいの収益があるのか。

**総務部長** 収益となる命名権料は、年額100万と聞いている。

市はネーミングライツを導入する考えはあるのか。

**総務部長** 検討している状況だ。

導入するならば、どの施設で考えているのか。

**総務部長** 施設の性質や利用状況から、市内では各種大会を実施し、県内外の利用者が多い、親水公園総合体育館を候補の一つと考えている。